

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

『マルチモーダルイメージングによる自己の神経回路ダイナミクス』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

2020年5月14日以降に、「ギフテッドの特徴を有する人における心理社会機能の評価に関する研究(研究代表者:池澤聰東京大学院総合文化研究科特任准教授)」に参加された方

【研究期間】

2020年5月14日より2025年3月31日まで

【研究代表者】

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 児童・予防精神医学研究部
松元まどか

【研究責任者】

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 松元まどか
国立大学法人東京大学 池澤聰
大学共同利用機関法人国立情報学研究所 稲邑哲也
学校法人玉川学園玉川大学 松元健二

【試料・情報の利用目的及び利用方法】

本研究「マルチモーダルイメージングによる自己の神経回路ダイナミクス」(研究期間:2025年3月31日まで)では、多様な集団(統合失調症および気分障害の患者様、健常者、ギフテッドの特徴を有する人)を対象として、自己に関係する神経回路ダイナミクスのMEGによる測定を行い、臨床評価、行動評価およびMRI検査のデータも併せて統合的に評価することで、統合失調症に特異的な神経回路病態を明らかにし、治療法や検査方法の向上に役立てることを目的としています。

「ギフテッドの特徴を有する人における心理社会機能の評価に関する研究(研究代表者:池澤聰東京大学院総合文化研究科特任准教授)」で実施された検査内容が、本研究で実施予定の検査と一部重複しておりますので、下記の取得されたデータを二次利用させて頂く場合がございます。

【利用又は提供する試料・情報等】

ウェクスラー式知能検査の、全検査IQ(FSIQ)、言語理解指標(VCI)、知覚推理指標(PRI)、ワーキングメモリー指標(WMI)、処理速度指標(PSI)の5つの合成得点

【共同研究機関】

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 研究責任者 松元まどか（研究代表者）

国立大学法人東京大学	研究責任者	池澤聰
大学共同利用機関法人国立情報学研究所	研究責任者	稲邑哲也
学校法人玉川学園玉川大学	研究責任者	松元健二

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

所属 児童・予防精神医学研究部 氏名 松元まどか

電話番号 042-341-2711 内線番号 6237

e-mail:mdk.matsumoto※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail:ml_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)